

## 《各グループの主なご意見や議論の概要》

### 安全・安心班

- ・「地区内の防災に関する情報周知の方法や広域避難場所のわかりやすいネーミングなどの検討が必要である。」「道路については、車と自転車と歩行者の通行が混在している。日常生活に加え災害時の避難も考慮した体系的な道路計画の検討が必要である。」といった意見が出されました。
- ・また防災上の視点から、大学や自治会など地域コミュニティの活発化やつながりの強化などに関するコメントも出されました。

### アメニティ班

- ・「世田谷公園や都営アパートや寺社・大学などの緑が多い。」という地区の魅力に関する意見の一方で、「昭和女子大のコンクリート塀の改善」、「シンボルとなる樹木の保存」、「魅力的な広場がない」などの課題が議論されました。
- ・今後の課題として、都営アパートの建替えにより、地区の風景が変わることについて意見がありました。
- ・また道路が狭い地区における交通安全面・防災面での問題、避難場所へのルートの問題などに関するコメントも多く出されました。

### にぎわい班

- ・住宅・学校・公園の周囲を大通りと商店街が囲み、魅力的な店舗も立地するなど、三宿ブランドのおしゃれなイメージがあります。しかし、それぞれが独立して地域の中に点在しており“つながっていない”というキーワードが地区の最大の特徴であり、課題であるという議論がされました。
- ・また防犯・防災的な視点から、人通りが少ない道や通り抜けができない場所など「安全・安心」に関するコメントも多く出されました。



出された意見を整理している様子



全体討議の様子



## 第2回『街づくり懇談会』を開催します！

今回掲載しました第1回『街づくりを考える会』、また、10月11日(火)に実施しました『街歩き(考える会のメンバーによる)』などの結果についてご報告し、意見交換を行う予定です。

(1) 10月21日(金)午後 7時から【会場】太子堂区民センター 第四会議室

(2) 10月22日(土)午前10時から【会場】駒繫小学校 視聴覚室

上記(1)(2)の両日とも同じ内容です。いずれかご都合の良い日にご参加ください。

会場の場所は、表面の図面をご覧ください。

ご意見・お問い合わせはこちらまで

世田谷区世田谷総合支所街づくり課 担当：元井<sup>もとゐ</sup>、東海林<sup>とうかいりん</sup>しょうじ

〒154-8504 世田谷区世田谷4-22-33

TEL:(03)5432-2872 FAX:(03)5432-3055

# (仮称)昭和女子大学 都営下馬アパート周辺地区 街づくりニュース

第3号

平成23年10月

世田谷区世田谷総合支所  
街づくり課

## 街づくりの検討を行っています！

世田谷区では、「(仮称)昭和女子大学・都営下馬アパート周辺地区」について、“安全に安心して住むことのできるこれからの街づくり”に向け、検討を行っています。

今回は『アンケート調査の概要』、第1回『街づくり懇談会』と第1回『街づくりを考える会』における会議内容をご報告します。

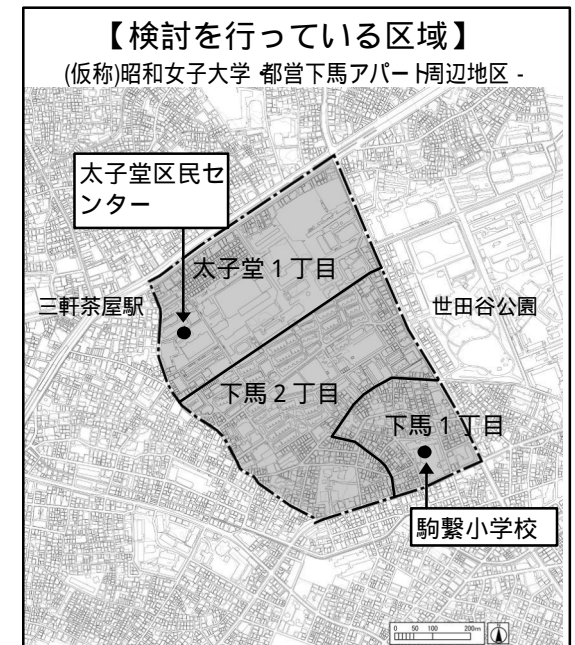
なお、第2回『街づくり懇談会』を10月21日(金)と10月22日(土)に開催し、『街づくりを考える会』の検討経過を踏まえた意見交換を行います。詳しくは4頁をご覧ください。

## アンケート調査の概要

この地区の問題点や街づくりの方向性について、地域の皆様のご意見をお伺いするために平成23年1月から2月にかけて「アンケート調査」を実施しました。アンケート調査結果の概要を紹介します。(第1回『街づくり懇談会』(6/17、6/19開催)で報告しています。)

### 《回収率》

配布数	5,256	回収数(回収率)	735(14.0%)
太子堂1丁目	1,847	太子堂1丁目	192(10.4%)
下馬1丁目	845	下馬1丁目	117(13.8%)
下馬2丁目	2,564	下馬2丁目	419(16.3%)
		不明	7



### 《調査結果のまとめ》

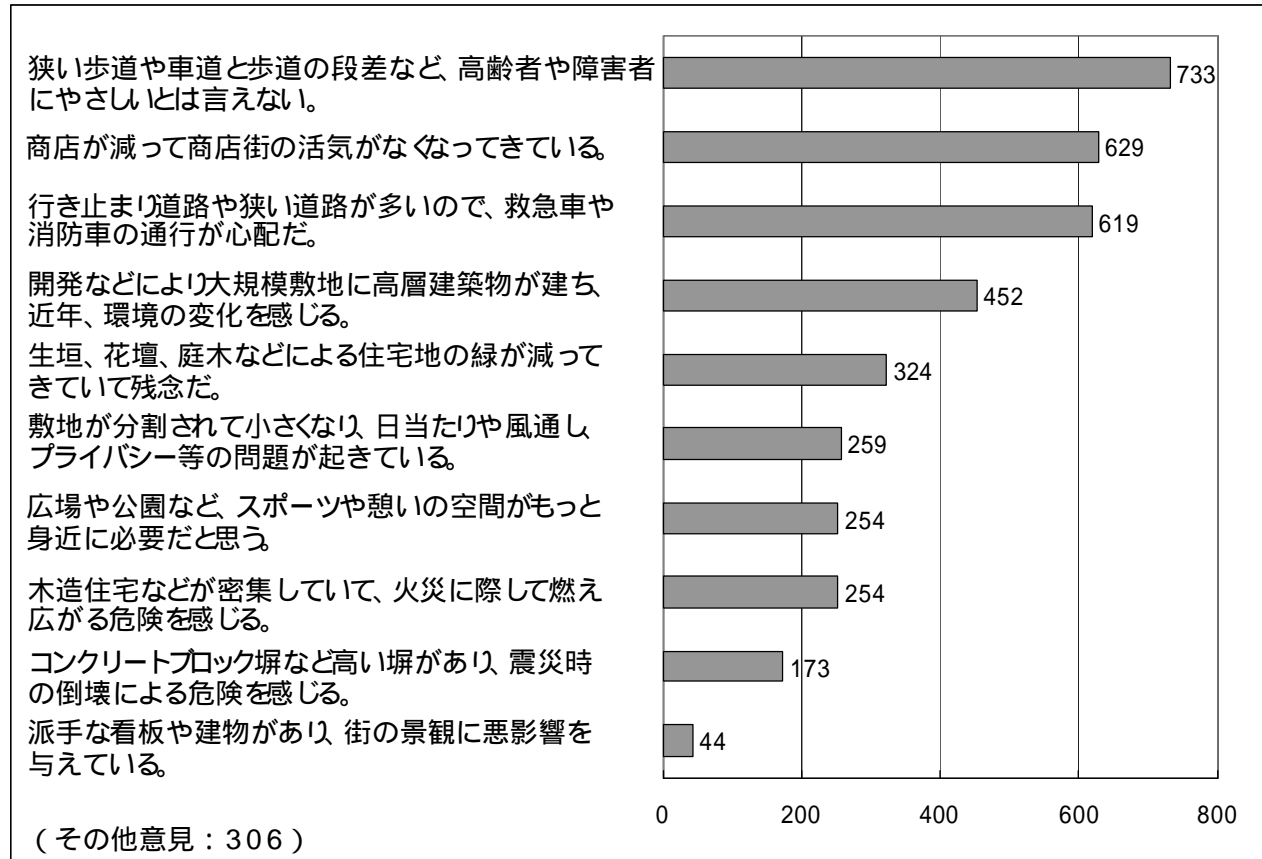
アンケート調査によりいただいたご意見やご要望をまとめると以下のとおりです。

- (1) 歩行者の歩きやすさ・安全性に対する要望が多い。
- (2) 特に高齢者が買い物に不便を感じており、買い物環境の改善に対する要望が多い。
- (3) 都営下馬アパートの建替えに併せて、地域に開かれた環境や機能の確保が望まれている。
- (4) 地区の特徴となっている緑豊かな環境の維持と向上が望まれている。
- (5) 地域に開かれ、地域と連携していくような昭和女子大学のあり方が求められている。
- (6) 地区全体として街路灯が少なく暗い。また、災害時に危険であるとの意見が多い。
- (7) 街づくりのルールの設定に関して前向きな意見が多い。

## 《地区内の問題や改善点について》

「狭い歩道や車道と歩道の段差など、高齢者や障害者にやさしいとは言えない」、「行き止まり道路や狭い道路が多いので、救急車や消防車の通行が心配だ」といった道路についてのご意見や、「商店が減って、商店街の活気がなくなっている」といった“買い物環境”についてのご意見が、特に多い状況になっています。

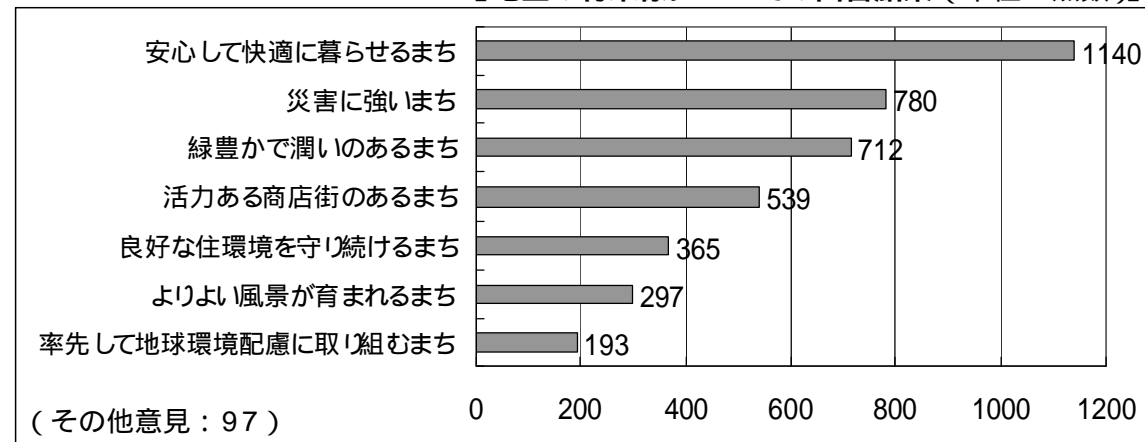
【地区の問題点・改善点についての回答結果(単位:点数)】



## 《地区の将来像について》

高齢者や障害者などにも配慮した「安心して快適に暮らせるまち」、建物の不燃化や十分な道路空間の確保による「災害に強いまち」が多く、“歩道や車道、広場や公園などの都市基盤が充実したまち”への関心が高く出ています。

【地区の将来像についての回答結果(単位:点数)】



上記2つのグラフは、アンケートで優先度の高い順に1~3番目までを選択いただき、優先度1番目を3点、優先度2番目を2点、優先度3番目を1点として合算した結果をグラフ化したものです。

アンケート結果の詳細は世田谷区ホームページ (<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/020/d00034724.html>) の第1回『街づくり懇談会』資料よりご確認ください。

## 第1回『街づくり懇談会』を開催しました！

第1回『街づくり懇談会』を6月17日(金)、19日(日)に開催しました。

第1回では、区からアンケート調査の概要や地区の現状などを説明し、今後の当地区の街づくりについて地元住民の方々からご意見をいただきました。

1日目: 6月17日(金) 午後7時から〔会場〕駒繫小学校視聴覚室〔出席者〕14名

【Q. 主なご質問・ご意見 A. 区回答】

- Q. 都営下馬アパートがすでに建設工事が進んでいるなかで、今から街づくりルールをつくるのは遅いのではないかと。
- A. 今後、計画される可能性のある大規模な建築計画を適正に誘導していくためにも、街づくりのルールは必要であると考えています。
- Q. 当地区は、大規模建物と戸建住宅などが混在しているため、きめ細かな地区計画のルール(エリアごとに対応した細かい規制と誘導)が必要であると思う。
- A. 戸建住宅や中高層住宅が共存できるような街づくりを進めていけるよう、ルール作りに配慮していきたいと考えています。



1日目の会議の様子

2日目: 6月19日(日) 午前10時から〔会場〕太子堂区民センター第一会議室〔出席者〕18名

【Q. 主なご質問・ご意見 A. 区回答】

- Q. 行政は国・都・区のそれぞれの役割があり、住民の声が届きにくい仕組みになっているので何とかして欲しい。
- A. まずは世田谷区の街づくり課にご相談いただきたい。その上で対応を考えさせていただきます。
- Q. 木造住宅が多く密集しているエリアでは、狭い道路は危険であり、災害時に備え広くして欲しい。
- A. 建築基準法では道幅が4m未満の道路(狭あい道路)は、4mまでは下がって建てることになっています。今回街づくりのルールを作成する中でも、避難しやすい道路の計画を位置づけていくなど、災害時にも対応した街づくりに配慮していきたいと考えています。

## 第1回『街づくりを考える会』を開催しました！

第1回『街づくりを考える会』を9月15日(木)に開催しました。

『街づくりを考える会』は、町会、商店会、学校関係者、地区住民有志の27名の方々に構成され、「(仮称)昭和女子大学・都営下馬アパート周辺地区」の街づくり(地区計画)の内容について、区からの資料の提供・説明をもとに、街づくりの方向性を考え、検討を積み重ねて行く会議です。

第1回のテーマは“地区を知る”でした。地区の現状を把握し、街の課題に関する認識の共有化を図ることを目的として、アンケート調査結果でも問題意識の高かった「安全・安心班」、「アメニティ班」、「にぎわい班」の3つのグループに分けてそれぞれ検討し、最後に全員で意見交換を行いました。



3つの班に分かれて議論した様子

「アメニティ」とは: 景観や緑をはじめとする生活環境の快適さをいいます。